



三島高校VYS部員と先生

私が初めて『心のわ』のみなさんにお会いしたのは、年が明けてすぐのことでした。それは『心のわ』が四国中央市内の施設のバリアフリー化状況などをまとめて、市車いす徹底活用術<sup>①</sup>を作製することになり、私たち三島高校VYS部にその調査を依頼するというので、詳しい内容を聞くために顧問の先生と部員3名で集まった時でした。初めてお会いした時の印象は、明るくて穏やかな人達で、そして印象通り、とても親しみやすい人達でした。

# 高校生が見た 「障がい者にやさしい 町づくり」とは

この後早速、2班に分かれて最初の調査を行いました。最初なので『心のわ』のみなさんにも一緒に施設を回っていただきまし  
た。1班は四国中央市役所本庁と三島図書館、もう1班は福祉会館と保健センターの調査をしました。私は後の班でした。福祉会館に行った時に、障がい者用トイレを見て驚きました。鏡が斜めになっていたり、緊急用ボタンがあつたりして私が今まで使っていたトイレにはない、いろいろな工夫があちこちに施されています。一番驚いたのはオストメイト——人工肛門や人工膀胱の人——対応トイレでした。

このように、この調査を通して私は多くのことを初めて知りました。

## いざ！調査開始

16年 四国中央市は平成  
16年に伊予三島市、川



場として使っていた私達にとつては便利だと思つていたので、車いすに乗ってみるといろいろ障がいがありました。体育館内ではエレベーターの入り口が狭すぎて車いすに乗ったままでは通りづらいし、また扉が閉まるまでの時間が1秒しかないため、車いすに

之江市、土居町、新宮村の4つの市町村が合併してできた市です。ですから、それぞれの地域に支所や図書館があります。そこで私たちはグループに分かれ、調査をすることにしました。

三島グループは最初に書いた4カ所を含めて8カ所、川之江グループは10カ所、土居グループは5カ所、新宮グループは3カ所の調査を行いました。その中でも特に印象に残っているのは、伊予三島運動公園の調査でした。体育館と外周周辺（体育館の外）の調査をした時です。今まで運動をする



愛媛県立三島高等学校  
VYS部

山田 穂乃香  
(四国中央市)

## 障がい者にやさしいまちづくり

の金属製の蓋(グレーチング)は、隙間に車いすの前輪がはまってしまいます。私は、「隙間の幅をもっと細くすれば車いすでも安心して通れるようになるのではないかと考えるようになりました。このことは私だけでなく、調査に参加した部員全員が思ったことでした。それと、「道路がガタガタして、進みにくかった」ということは全員が口を揃えて言いました。

私は今まで道路の路面状態を気にして歩いたことは一度もありませんでした。車いすでは土の上や舗装されていない道などは



乗って1人だと出入りが難しかったです。外周周辺では路面がガタガタしているとか、車いすでは通れない道(幅が狭い、段差があるなど)があったりと意外と不便な部分がありました。私たちが普通に使って、全く不便を感じないことでも、車いすに乗ってだと不便だったり、困ったりするのだという感じました。

### この調査を通して

このように、この調査をしたことで学ぶことは大変多くて、自分の視点も変化するようになりました。例えば道路の側溝

とても進むのが難しくなるということも、この調査をして初めて気がつきました。

### 『心のわ』のみなさんとの話

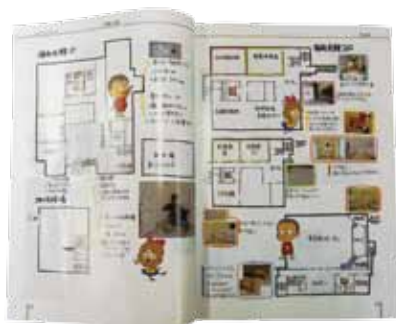
調査中、『心のわ』のみなさんといろいろな話題について話をする機会が多くなりました。

「障がい者用のトイレを障がいのない人が使ってもいいと思いますか」と聞かれた時に、私はいいえと答えました。理由は、障がい者用のトイレだし、使っている最中に障がい者の方が来られたら申し訳ないと思ったからです。しかし、『心のわ』の方からは、「障がいのない人にも使ってほしい」と言われました。実際に利用して、どういうものかを知ってほしいそうです。

また、もし誰にも使われなかったら、物置になってしまってトイレとしての機能を失う恐れもあります。私は「共生」ということを改めて考えさせられました。私にとつてこれは新しい視点となりました。

### これからの福祉と地域

私は社会福祉士を目指していますが、今



バリアフリーマップ「四国中央市車いす徹底活用術」

回の活動は私にいい刺激を与えてくれました。そして私に「いままで見えなかった視点を認識させてくれました。」

これからの福祉が目指す「やさしい町づくり」は、私にもできることが沢山あります。まずは誰かに伝えましょう。親、兄弟、友達など多くの人に。そしてどうすればいいか話し合っって実行しましょう。福祉は制度だけでは成り立ちません。一人ひとりの思いやりと気配り、知ること、伝えること、考え実行することが重要でです。私は今、周りの人に伝えることから始めています。